オホーツク管内
建設産業安全大会
H.31.04.10

北海道通信　記事

オホーツク管内建設産業安全大会

労災防止へ取組を強化

600人参加し安全施工誓う

【網走発】2019年度オホーツク管内建設産業安全大会が10日、北見市内の北見芸術文化ホールで開催された。主催は、網走建設業協会（会長・丸田孝一㈱丸田組社長）、建災防北見分会（同分会長）、網走地方建設業団体連絡協議会（同会長）。関係者約600人が参加し、労働災害・交通事故の撲滅に向け、決意を新たにした。

開会式では、労働災害・交通事故犠牲者に対する黙とうに続いて、大会実行委員長の野口恵司㈱野口建設社長が開会宣言。引き続き、丸田会長があいさつ。労働災害と交通事故撲滅を建設業界の最重要課題と説明。各社が労働災害・交通事故防止に向けた啓発活動を積極的に取り組んでいることに対し敬意を示した上で「管内では依然として労働災害が発生している。さらなる緊張感をもって労働災害・交通事故防止に向け、取組を強化してほしい」と要望した。

来賓あいさつでは、網走開建の村上昌仁部長や網走建管の嵐雅之部長など4人が登壇。村上部長は、労働災害・交通事故の防止には特効薬がないと強調した上で「事故防止に向けては、安全に対する常日ごろからの自覚が重要。各社においては、安全活動・安全教育を通じて、事故防止の環境を整えてほしい」と、協力を要請した。

このあと、安全衛生功労者と交通安全優良会社の表彰が行われ、安全衛生功労者では㈱三共後藤建設（北見、後藤武史社長）の黒瀬俊政氏、交通安全優良会社には㈱舟山組（北見、舟山秀太郎社長）が選ばれ、丸田会長から表彰状が手渡された。

続いて、網走工業㈱の佐々木孝往氏と北進工業㈱の荻原政仁氏が決意宣言。「管内の建設産業関係者が一丸となり、強い決意と意欲をもって、働くものすべてが望む〝安全で快適な職場〟の実現を目指す」などと力強く宣言した。

大会ではこのほか、北見労基署の清水紘明安全衛生課長と道警北見方面本部交通課の山本秀則課長補佐が安全講話し、労働災害・交通事故が発生するポイントや注意点を説明。本格的な工事着工期を前に、無事故・無災害に向けた決意を新たにした。

無事故・無災害への決意を新たにした

弊社　佐々木による決意宣言